

平成29年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	歩道等整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	谷口光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	歩道等総合整備計画の推進。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	歩道等総合整備計画の推進。
②①に基づく取り組み結果	歩道等総合整備計画に基づく事業を関係各課と連携し着実に推進した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	歩行者と車両の動線が輻輳している箇所	意図(対象をどうするのか)	交通事故の減少
②事務事業の概要	歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯・ガードレール・道路反射鏡・道路標識等の交通安全施設の整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民意識調査にて、交通安全対策への不満足度は40%、重要度は82.8%と市民の関心は高い状態にあるが、市内の人身事故は減少傾向にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	道路照明灯1基、道路反射鏡20基、道路区画線2.9Km、交通立看板35基、グリーンベルト1,227m、ゾーン30指定1箇所					
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i	交通事故発生件数	440	415	299	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	4.6	4.6	3.2	業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算
事業費(千円)	14,985	14,976	金額(千円)	内容	15,000	
国支出金(千円)	0		308	交通立看板作製委託		
県支出金(千円)	0		14,668	歩道等整備工事		
市債その他(千円)	0					
一般財源(千円)	14,985	14,976			15,000	

IV 評価・検討

①課題	歩道設置には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	道路の機能管理面から安全確保をする責務があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	道路区画線・道路反射鏡・防護柵等の設置・交通立看板の作製	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路区画線・道路反射鏡・防護柵等の設置・交通立看板の作製	15,000	15,000	当初	15,000	14,976	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0			
				補正	0			
				流用・充当	0		現年分	14,976
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円)						
		0						

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	交通安全施設更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	谷口光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市の点検方法について、国が制定準備を進めている新たな点検方法を参考に制定を行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	市の点検方法の制定。
②①に基づく取り組み結果	国基準等の情報収集を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	道路照明灯・道路反射鏡等の安全施設	意図(対象をどうするのか)	更新を行い、全ての人が安心して、道路を通行できるようにする。
②事務事業の概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設(道路照明灯・道路反射鏡等)の更新を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果		道路照明灯更新10基					
②成果を表す指標		指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	440	415	299	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	4.6	4.6	3.2	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト		平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算
事業費(千円)		3,899	4,568	金額(千円)		内容	5,000
	国支出金(千円)			4,568		交通安全施設更新工事	
	県支出金(千円)						
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	3,899	4,568				5,000

IV 評価・検討

①課題	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	道路照明灯更新・道路反射鏡更新	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
②計画に対する事業実績	道路照明灯更新	計画事業費	5,000	4,568	予算額		
					4,568	決算額	
						H27からの繰越	0
						現年分	4,568
③達成状況	完了						
④未完了・非着手の理由							
		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0					

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ヶ谷駅自転車等駐車場用地購入事業(船橋我孫子線～新京成線)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	谷口光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度新規事業のため無し	③平成29年度に取組む改革・改善内容	債務負担行為に基づく用地購入費の支払い
②①に基づく取組み結果	平成28年度新規事業のため無し		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	自転車等駐車場用地	意図(対象をどうするのか)	用地を取得する。
②事務事業の概要	新鎌ヶ谷駅東口暫定自転車駐車場は、千葉県企業庁より借地し、供用しているが、この駐車場の安定的な供用のため、当該用地を千葉県企業庁より購入するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷駅周辺では自転車等駐車場は十分に確保されているが、民間駐車場は今後の土地利用により減少する可能性があるため、駐車場確保のための検討が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果		土地譲渡契約に基づく土地の引き受けと債務負担行為による1回目の用地購入費の支出					
②成果を表す指標		指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	駐車場定期利用率	75.0	79.6	81.1	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト		平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算
事業費(千円)		0	47,573	金額(千円)		内容	14,085
	国支出金(千円)			47,573		用地購入費	
	県支出金(千円)						
	市債その他(千円)		47,000				14,085
	一般財源(千円)		573				

IV 評価・検討

①課題	新鎌ヶ谷駅周辺では自転車等駐車場は十分に確保されているが、民間駐車場は今後の土地利用により減少する可能性があるため、駐車場確保のための検討が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ヶ谷駅周辺における自転車駐車場は当該駐車場を含めて確保されている状況であることから、利用者の利便性及び駅前の放置自転車防止の観点から必要な施設であるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画		用地購入		平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
				計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績		債務負担行為契約に基づく用地購入費(第1回)支払い		47,574	47,574	当初	47,574	47,573	H27からの繰越	0
						H27⇒28繰越	0		現年分	47,573
③達成状況		完了				補正	0			
④未完了・非着手の理由						流用・充当	0 <th colspan="3"></th>			
				平成29年度への繰越額(単位:千円)		0				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	道路維持・補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	谷口光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	法定点検に対応するための点検基準の制定。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の制定。
②①に基づく取り組み結果	国基準等の情報収集を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図(対象をどうするのか)	市民の安全性・利便性の確保
②事務事業の概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果		○道路補修・清掃委託    ○排水管(溝)清掃委託    ○道路維持工事					
②成果を表す指標		指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	「道路の状況」満足度	-	-	-	%	市民意識調査
	ii	道路パトロール日数	128	128	128	日	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト		平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)		144,505	169,052	金額(千円)		内容	109,500
	国支出金(千円)	19,186	11,567	850		道路愛護活動報償	1,595
	県支出金(千円)	0		52,017		道路補修・清掃委託他	
	市債その他(千円)	0	17,400	116,143		舗装補修工事他	
	一般財源(千円)	125,319	140,085	42		電柱移設費	107,905

IV 評価・検討

①課題	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要のため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	道路補修・清掃、排水管(溝)清掃、 道路維持工事、橋梁補修工事	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	道路補修・清掃、排水管(溝)清掃、 道路維持工事、橋梁補修工事	148,822	174,367	当初	148,822	H27からの繰越	23,328
				H27⇒28繰越	25,000		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	145,724
				流用・充当	545		
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0					



平成29年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	流域環境整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	2	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	谷口光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	河川施設の点検方法等について、国の基準を参考に、市の点検方法について制定を行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	鎌ケ谷市の河川等施設に応じた点検方法の制定。
②①に基づく取り組み結果	国基準の情報収集と動向調査		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	河川、水路、調整池	意図(対象をどうするのか)	施設の機能維持
②事務事業の概要	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草・清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化が進んでおり、大規模な修繕とともに、長寿命化のための対策が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果		○河川管理委託                      ○河川・水路清掃委託                      ○スクリーン清掃委託 ○河川・水路維持工事					
②成果を表す指標		指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	河川・水路に対する満足度	-	-	-	%	市民意識調査
	ii	河川・水路除草面積	58,310	58,610	58,610	m <sup>2</sup>	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト		平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算
事業費(千円)		29,333	27,616	金額(千円)		内容	27,954
	国支出金(千円)			16,999		河川管理委託他	
	県支出金(千円)			10,595		維持補修工事他	
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	29,333	27,616				27,954

IV 評価・検討

①課題	施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画		河川水路の清掃・維持工事等		平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
				計画事業費		予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		河川水路の清掃・維持工事等		27,750	27,700	当初		27,616	H27からの繰越	
						H27⇒28繰越			0	
③達成状況		完了		27,750	27,700	補正		27,616	現年分	
						流用・充当			-50	
④未完了・非着手の理由				平成29年度への繰越額(単位:千円)		0				